

科目 国語表現

单位数： 2 单位

B 組

使用教科書：（「国語表現」東京書籍 「国語表現ナビ」浜島書店

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 聞	書	読					
1 学 期	A 単元「表現とは何か」 【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・導入のミニゲームを通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解する。	・指導事項 単元全体の目標の確認をする。 ・教材 「傾聴・共感ゲーム」 「ジェスチャーゲーム」 「円周率でラップ」 「折り紙説明ゲーム」 ・一人1台端末の活用 等 オンライン学習のための接続テストや課題の提出方法について確認する。	○		○	【知技】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【主】 ・導入のミニゲームを通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	○	○	○	12
	B 単元「問いを考えよう」 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し、学習の見通しをもってインタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨むことができる。	・指導事項 「推薦図書冊子」制作の意図と役割分担、工程を確認する。 ・教材 「インタビューの流れ」 「質問メモ」「原稿フォーマット」 ・一人1台端末の活用 等 インタビュー内容を「原稿フォーマット」にデータでまとめるとともに、teamsを通じて提出する。	○	○		【知技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【主】 ・コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し、学習の見通しをもってインタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨もうとしている。	○	○	○	14
2 学 期	C 単元「表現を楽しもう」 【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学作品の創作に意欲的に取り組み、読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫することができる。	・指導事項 本単元ではさまざまなジャンルの作品を創作し、創作活動を楽しむことを確認する。 ・教材 「俳句」「短歌」「詩」「物語」 ・一人1台端末の活用 等 創作した作品をデータにまとめ、teamsを通じて提出する。 文化祭展示に向けて、作品を構成や装飾等を考える。		○	○	【知技】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 【主】 ・文学作品の創作に意欲的に取り組み、読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して、今までの学習を生かして自分が思い描いたことを的確な言葉で表現しようとしている。	○	○	○	18
	D 単元「表現と読書活動」 【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて表現方法や話の展開を変えらるなどして相手の同意や共感が得られるように表現を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本を紹介し合う活動に積極的に取り組み、相手に伝わる表現を工夫したりしようとする。	・指導事項 本を紹介し合う活動を通して、さまざまな本と出会い、読書の楽しみを知る。 ・教材 「ブックトーク」「ビブリオバトル」 ・一人1台端末の活用 等 スピーチの内容をICTを用いて校正するとともに、完成原稿をteamsを通じて提出する。	○	○		【知技】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて表現方法や話の展開を変えらるなどして、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 【主】 ・本を紹介し合う活動に積極的に取り組み、相手に伝わる表現を工夫したりしようとしている。	○	○	○	18
3 学 期	F 単元「心をつかむ表現」 【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材文を読んで、社会で必要とされている表現の在り方について考え、学習の見通しをもって自分の表現に生かすことができる。	・指導事項 日常生活上のことも含めた「表現」活動を振り返り、今後の「表現」を大事にする気持ちを養う。 ・教材 「YOASOBI」「高木沙羅選手」 ・一人1台端末の活用 等 自分の考えをプレゼンテーションソフトを用いてまとめ、発表する。完成資料をteamsを通じて提出する。	○	○	○	【知技】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 【主】教材文を読んで、社会で必要とされている表現の在り方について考え、学習の見通しをもって自分の表現に生かそうとしている。	○	○	○	16 合計 78

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 様々な図法や地理情報システムについての知識を習得し、地理情報システムを活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 地形図から土地の成り立ちを思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 時差や地理情報システムから我々が生活している日本とのつながりを積極的に深める。	【指導内容】 ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	【知識及び技能】 様々な図法や地理情報システムについての知識を習得し、地理情報システムを活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 地形図から土地の成り立ちを思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 時差や地理情報システムから我々が生活している日本とのつながりを積極的に深めることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 日本の位置や世界との貿易、世界の交通網・通信網について理解するとともに統計資料を活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家間の結び付きや領土問題が発生する過程を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界と日本の貿易上のつながりや交通・通信網のつながりについて理解を深める。	【指導内容】 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	【知識及び技能】 日本の位置や世界との貿易、世界の交通網・通信網について理解するとともに統計資料を活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国家間の結び付きや領土問題が発生する過程を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界と日本の貿易上のつながりや交通・通信網のつながりについて理解を深めることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の地形や気候、言語、産業について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 雨温図や景観写真の読み取りから、気候的な特徴を思考・判断する。また、各国の産業の発達についてグラフ等を用いて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の気候的な特徴や日本と世界との産業のつながりについて理解を深める。	【指導内容】 ・世界の地形と気候 ・世界の言語と宗教 ・世界の産業と人々の生活	【知識及び技能】 世界の地形や気候、言語、産業について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 雨温図や景観写真の読み取りから、気候的な特徴を思考・判断できる。また、各国の産業の発達についてグラフ等を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の気候的な特徴や日本と世界との産業のつながりについて理解を深めることができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	D 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界的な問題が発生する原因や経過について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界的な問題を解決するために我々が考えることができる。	【指導内容】 ・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・人口問題と食料問題 ・都市居住問題	【知識及び技能】 環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界的な問題が発生する原因や経過について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界的な問題を解決するために我々が考えることができる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	E 持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】 自然災害が発生する過程について理解を深めるとともに防災に関してハザードマップを活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然災害が発生する過程について地形の特徴などを踏まえて思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 防災や減災について我々ができる方策の理解を深める。	【指導内容】 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・自然災害への備え ・生活圏の調査と地域の展望	【知識及び技能】 自然災害が発生する過程について理解を深めるとともに防災に関してハザードマップを活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自然災害が発生する過程について地形の特徴などを踏まえて思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 防災や減災について我々ができる方策の理解を深めることができる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
合計							
78							

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

使用教科書：（数Ⅰ708「高校数学Ⅰ」 実教出版）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	既習事項の復習 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとする。	指導内容 1 既習事項の復習 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	既習事項の復習 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとする。	指導内容 1 既習事項の復習 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

使用教科書：（数Ⅰ708「高校数学Ⅰ」 実教出版）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	単元 データの分析 1節「データの分析」 【知識及び技能】 統計の考えを理解し、データを表やグラフに整理したり、代表値を求めたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、事象の特徴を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、データを整理したり、特徴をつかもうとする。	指導内容 1 統計とグラフ 2 度数分布表とヒストグラム 3 代表値 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 統計の考えを理解し、データを表やグラフに整理したり、代表値を求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、事象の特徴を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、データを整理したり、特徴をつかもうとしている。	○	○	○	20
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
2 学 期	単元 データの分析 1節「データの分析」 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解し、基本的な統計量を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、基本的な統計量を求めようとする。	指導内容 1 データの散らばり 2 外れ値 3 相関関係 4 仮説検定の考え 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解し、基本的な統計量を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、基本的な統計量を求めようとしている。	○	○	○	19
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習
教 科： 数学 科 目： 数学演習 単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組

教科 数学 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量についての論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	課題研究 【知識及び技能】 課題解決に向けて、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりし、結論を導く。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な手法を選択して分析を行い課題を解決したり、その過程や結果を考察し判断したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、課題を解決しようとする。	指導内容 1 課題の設定 2 調査・研究 3 発表・振り返り 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 課題解決に向けて、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりし、結論を導くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な手法を選択して分析を行い課題を解決したり、その過程や結果を考察し判断したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、課題を解決しようとしている。	○	○	○	33
	定期考查		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
合計							117

使用教科書：（高等学校 新生物基礎（第一学習社））

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を、
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物や生物現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学期	A 生物の特徴 ・生物にみられる共通性とその由来について理解する。 ・エネルギーと代謝、ATPの役割について説明できる。 ・酵素の働きについて、実験計画と考察ができる。	・生物にみられる共通性 ・細胞の構造 ・エネルギーと代謝、ATP ・光合成と呼吸のしくみ ・酵素の働き	○			・生物にみられる共通性とその由来について理解できている。 ・エネルギーと代謝、ATPの役割について説明できる。 ・酵素の働きについて、実験計画と考察ができている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B 遺伝情報とDNA ・染色体、DNA、遺伝子の概念を理解する。 ・DNAの構造、複製について説明できる。 ・DNAの抽出実験について、計画と考察ができる。	・染色体、DNA、遺伝子について ・DNAの構造 ・DNAの複製 ・DNAの分配 ・DNAの抽出実験	○			・染色体、DNA、遺伝子の概念を理解できている。 ・DNAの構造、複製について説明できる。 ・DNAの抽出実験について、計画と考察ができている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2 学期	C 遺伝情報とタンパク質の合成 ・タンパク質の構造と働きについて理解する。 ・遺伝子の発現とタンパク質合成について説明できる。 ・iPS細胞と再生医療について自ら調べることができる。	・タンパク質の構造と働き ・遺伝子の発現とタンパク質合成 ・細胞と遺伝子の働き ・細胞の分化とiPS細胞 ・ゲノムと医療	○			・タンパク質の構造と働きについて理解できている。 ・遺伝子の発現とタンパク質合成について説明できる。 ・iPS細胞と再生医療について自ら調べ、まとめることができる。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	D ヒトの体の調節 ・体内環境と恒常性について理解する。 ・自律神経系とホルモンの働き、血糖濃度の調節について説明できる。 ・水分の調節、体温の調節について自ら調べることができる。	・体内環境と恒常性 ・自律神経系の働き ・ホルモンの働き ・血糖濃度の調節 ・水分の調節、体温の調節	○			・体内環境と恒常性について理解できている。 ・自律神経系とホルモンの働き、血糖濃度の調節について説明できる。 ・水分の調節、体温の調節について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学期	E 免疫 ・病原体と生体防御について理解する。 ・自然免疫と獲得免疫について説明できる。 ・免疫と疾病、医療について自ら調べることができる。	・病原体と生体防御 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と疾病 ・免疫と医療	○			・病原体と生体防御について理解できている。 ・自然免疫と獲得免疫について説明できる。 ・免疫と疾病、医療について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	10
	F 生物の多様性と生態系 ・植生の遷移、バイオームについて理解する。 ・生物どうしの関係、生態系のバランスについて説明できる。 ・生態系の保全とその意義について自ら調べることができる。	・植生の遷移と環境 ・バイオーム ・生態系、生物どうしの関係 ・生態系のバランスとかく乱 ・生態系の保全とその意義	○			・植生の遷移、バイオームについて理解できている。 ・生物どうしの関係、生態系のバランスについて説明できる。 ・生態系の保全とその意義について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		合計
							○	○		78

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての他他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動・体力テスト 【知識及び技能】 体はぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや、心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと必要性を理解しながら運動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということや、主体的に体づくり運動に取り組もうとしている。	・指導事項 準備体操やストレッチなどの簡単な運動を通して、生徒の自己の体を知り、継続して運動に取り組む大切さに気付く時間を設ける。 ・教材 東京アルファ、プリント、動画、記録用紙等 ・一人1台端末の活用 等 体力テストの入力・個々の体力の把握。	【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということ、合意形成に貢献しようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	B 陸上競技 【知識及び技能】 短距離走、リレーの局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があること、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・指導事項 記録をもとに、自己や仲間合った走り方を考える時間を設ける。 ・教材 ストップウォッチ、バトン、スタートフラッグ等 ・一人1台端末の活用 等 走りの記録や、早く走るためのポイント調べ等。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、測定の仕方などについて理解している。短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	C 球技（バドミントン） 【知識及び技能】 シャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、互いに助け合い教えあおうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 個人の能力を高めるだけでなく、シングルス、ダブルスの試合を通して、対人で行う運動の経験を積み重ねる。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やペアが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようということ。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようということ。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教えあおうとすること。健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	12

使用教科書：「Amity English CommunicationⅡ」（開隆堂）

教科 外国語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話（ や）	話（ 発）	書					
1 学 期	単元【Okinawa】 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形、助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介しようとしている。	・本単元の文法事項 ・沖縄についてやり取りしたり、旅行で行ってみたい場所について紹介したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1
	単元【The History of Japanese Food】 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介しようとしている。	・本単元の文法事項 ・食事についてやり取りしたり、友だちの好きな食べ物について紹介したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）		教科	家庭	科目	家庭総合
教科：	家庭	科目：	家庭総合	単位数：	2 単位
対象学年組：第 3 学年 A組、B組					

使用教科書：（「未来へつなぐ家庭総合365」 教育図書）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人間の発達と家庭生活を総合的に捉え、生活における基礎的な技術と知識を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会における生活上の課題を見つけ、解決策を見つながら課題解決の力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会構築のため、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等について、生活を総合的に捉え、基礎的な知識と技能を身に付ける	家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等における課題を見つけ、解決策を考えながら課題解決の力を養う	よりよい社会構築を目指し、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	B編 第2章 衣生活と健康 【知識及び技能】 健康で安全な衣生活を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康で安全な衣生活を踏まえ、衣生活の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 健康で安全な衣生活を主体的に考察する	【指導事項】 ・衣服の役割って何だろう？ ・衣服はどうやってつくられている？ ・衣服の計画、管理を知ろう ・今後の衣生活を考えよう ・衣服実習 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】 健康で安全な衣生活を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】 健康で安全な衣生活を踏まえ、衣生活の改善を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 健康で安全な衣生活を主体的に考察している	○	○	○	24
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
2 学期	B編 第1章 食生活と健康 【知識及び技能】 健康で安全な食生活を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康で安全な食生活を踏まえ、食生活の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 健康で安全な食生活を主体的に考察する	【指導事項】 ・なぜごはんを食べるの？ ・私たちは何を食べているの？ ・安全に食べよう ・健康に食べよう ・おいしく食べよう ・これからも食事を楽しむために 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】 健康で安全な食生活を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】 健康で安全な食生活を踏まえ、食生活の改善を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 健康で安全な食生活を主体的に考察している	○	○	○	34
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
3 学期	A編 第4章 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴や社会背景、生活介助方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の背景や相手を尊重した生活介助を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者福祉の現状を受け止め、高齢者の自立と尊厳を尊重する	【指導事項】 ・高齢期ってどういう時期？ ・高齢者とふれ合ってみよう ・高齢化する日本を生きる 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・体験実習キット ・タブレット端末	【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴や社会背景、生活介助方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の背景や相手を尊重した生活介助を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者福祉の現状を受け止め、高齢者の自立と尊厳を尊重する	○	○	○	6
	A編 第5章 共生社会と福祉 【知識及び技能】 共生社会の在り方や背景、関係法規や制度を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい共生社会の在り方を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 多様な立場や価値観を持つ人々との関わりと生活を尊重する	【指導事項】 ・共生って何だろう？ ・ノーマライゼーションとは 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 共生社会の在り方や背景、関係法規や制度を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい共生社会の在り方を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 多様な立場や価値観を持つ人々との関わりと生活を尊重している	○	○	○	4
	C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境 【知識及び技能】 環境問題、SDGsに関わる基礎的な知識や背景を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会のための消費行動を振り返り、考察する 【学びに向かう力、人間性等】 環境を踏まえた生活設計を身近な問題として受け止める	【指導事項】 ・未来の地球環境は大丈夫？ ・自分の生活を豊かにしよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 環境問題、SDGsに関わる基礎的な知識や背景を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会のための消費行動を振り返り、考察している 【学びに向かう力、人間性等】 環境を踏まえた生活設計を身近な問題として受け止めている	○	○	○	4
	学年末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
	D編「学校家庭クラブ」は学校行事と関連させ、D編「ホームプロジェクト」は各分野を総合させ、それぞれ生徒の実態に応じて内容を選定し、適宜実施する						合計 78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科：商業 科目：情報処理 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～ B組

使用教科書：（教科書 商業715「最新情報処理」）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展することを思考する

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成すること

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における情報を扱うことについて体系的に理解し関連する技術を身に付けている。	企業における情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指し自ら学び、情報を適切に扱うことを主体的・協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 【知識及び技能】 情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用した情報の処理や活用 の重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか	○	○	○	2
	2節 情報モラルと法規 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性和、その概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 法令を遵守しようとする態度を身に付けたか	○	○	○	2
	3節 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 企業における適切な情報処理について理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業における情報処理について自ら学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 関連する技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報デザインについて理解する 【思考・判断・表現】 情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせる 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	2
	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 活用する基本的な技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考・判断・表現】 ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成 【主体的に学習に取り組む態度】 機能を活用することができる	○	○	○	4
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 【知識及び技能】 情報通信ネットワークを利用 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス情報の検索 【学びに向かう力、人間性等】 活用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 効率的な検索ができるか 【思考・判断・表現】 情報の価値や正確性について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持つ	○	○	○	4
	3節 インターネットの活用 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 電子メールの利用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電子メールを適切に利用できるか 【思考・判断・表現】 電子メールの危険性などについて理解 【主体的に学習に取り組む態度】 電子メールのマナーなどについて興味を持つ	○	○	○	4
	4節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 情報化社会に参画する 【思考力、判断力、表現力等】 個人が身につけるべきセキュリティ管理 【学びに向かう力、人間性等】 セキュリティ管理の方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 【知識及び技能】 情報の重要性を理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】	○	○	○	8

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 情報を分析 【学びに向かう力、人間性等】 傾向を把握する能力		セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について 興味を持つ	○	○	○	○
	2 節 関数を利用した表の作成 【知識及び技能】 基本的な操作 【思考力、判断力、表現力等】 計算式及び関数について理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて適切な表の作成する技術	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基本的な操作について理解 【思考・判断・表現】 関数等について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組む	○	○	○	8
	3 節 グラフの作成 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを利用 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの種類や構成要素、特色を理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に合ったグラフ作成方法の理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 グラフの特徴を理解 【思考・判断・表現】 グラフの構成要素を理解 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフから読み取れる内容を理解	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	3 章 情報の集計と分析 4 節 情報の整列・検索・抽出 【知識及び技能】 大量のデータを目的に応じた利用 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトのデータベース機能を利用 【学びに向かう力、人間性等】 整列や検索、抽出の技法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基準のキー項目でデータの整列ができるか 【思考・判断・表現】 データの分類や整列、必要なデータの検索、 抽出ができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 抽出されたデータなどの意義などを理解し、 分析する判断に利用できたか	○	○	○	7
	5 節 問題の発見と解決の方法 【知識及び技能】 事象をモデル化し、シミュレーションを行 う基礎的な技法 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムとして表現する基礎的な技法を 用いた問題の発見と解決について考察 【学びに向かう力、人間性等】 PPM分析などを活用した情報の整理	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ビジネスに関する問題の発見と解決につい て、基礎的な技法を理解し、関連する技術を 身に付ける 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する問題の発見と解決につい て、情報の提供に対する要求を分析し、表現 し、評価・改善できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学び、情報の提供と活用について主体的 かつ協働的に取り組もう	○	○	○	7
	4章 ビジネス文書の作成 1 節 ビジネス文書と表現 【知識及び技能】 文書情報がコミュニケーションの重要な手段 【思考力、判断力、表現力等】 諸活動の中で果たしている役割や種類につ いて理解する 【学びに向かう力、人間性等】 タイピングの重要性	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各種文書の役割や文書の構成要素などにつ いて理解できたか 【思考・判断・表現】 情報と文書の関係などについて 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングの重要性	○	○	○	10
	2 節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法 【知識及び技能】 ワープロの利用に関する知識と技術 【思考力、判断力、表現力等】 文書の構成、構成要素の配置、文書作成の 要領 【学びに向かう力、人間性等】 ワープロを利用した基本文書の作成に興味を 持つ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワープロの利用に関する知識を習得している か 【思考・判断・表現】 ワープロの利用に関する技術を習得している か 【主体的に学習に取り組む態度】 ワープロを利用した基本文書の作成に興味を もてるか	○	○	○	10
	2 節 基本文書の作成 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書 【知識及び技能】 文書作成に関する知識と技術 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な社内文書や社外文書を取り上 【学びに向かう力、人間性等】 文書体裁を考える	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワープロの基本的な機能を利用して文書が作 成できるか 【思考・判断・表現】 ワープロの機能などを理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 文書体裁を考える	○	○	○	10
	3 節 応用文書の作成 【知識及び技能】 ワープロの多様な機能を利用 【思考力、判断力、表現力等】 表やグラフなどを含む文書の作成に関する 知識 【学びに向かう力、人間性等】 ワープロ技術	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 計算機能やグラフ、イラストなどを利用した 文書を作成できるか 【思考・判断・表現】 データの差し込み機能などを理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 必要に応じて様々な機能を選択できるか	○	○	○	10
3 学 期	5 章 プレゼンテーション 1 節 プレゼンテーションの技法 【知識及び技能】 基礎的な技法を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの意義を理解 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの準備から評価改善に 至るまでの一連の流れ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プレゼンテーション活動の意義や役割を理解 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの準備から評価改善に 至るまでの一連の流れ 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な技法を身に付けているか	○	○	○	8
	2 節 ビジネスにおけるプレゼンテ ーション 【知識及び技能】 プレゼンテーションソフトウェアを活用 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 資料作成などの準備ができているか 【思考・判断・表現】 聴衆が理解しやすい資料や構成になっている か	○	○	○	4

期	資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーション方法の違いについて理解		【主体的に学習に取り組む態度】 実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	△
	総合演習 【知識及び技能】 各種ソフトウェアを適切に活用 【思考力、判断力、表現力等】 報告書や文書を作成 【学びに向かう力、人間性等】 発表する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各種ソフトウェアを活用しているか 【思考・判断・表現】 ソフトウェアと連携した文書などが作成できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な機能などを理解しているか	○	○	○	4
							合計
							117

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 商業 科目 簿記

教科：商業 科目：簿記 単位数：3 単位
対象学年組：第 3 学年 B 組

使用教科書：（現代簿記（190東法 商業711））

教科 商業 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人としての必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとずいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 その他の債権・債務 【知識及び技能】 新たに学ぶ勘定科目の区別ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 継続的な仕訳の理解ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 検定問題等難しい問題に取り組む姿勢がある。	・自作プリント教材等 ・3級簿記検定試験 模擬問題、過去問題等	【知識・技能】 債権・債務の意義を理解したうえで、各勘定科目の区別を理解している。 【思考・判断・表現】 取引のイメージをもち適切な勘定科目を用いて処理をおこなうことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい仕訳の方法を主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	2 補助簿の記帳と締切 【知識及び技能】 記帳や締切の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 補助簿に関連する仕訳や計算問題も理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 検定問題等難しい問題に取り組む姿勢がある。	・自作プリント教材等 ・3級簿記検定試験 模擬問題、過去問題等	【知識・技能】 補助簿に関する知識を身に付け、帳簿に記入する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 補助簿から、どのような取引がおこなわれたのかを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 取引から補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3 決算業務と財務諸表 【知識及び技能】 適切な決算仕訳の処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な財務諸表の作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 検定問題等難しい問題に取り組む姿勢がある。	・自作プリント教材等 ・3級簿記検定試験 模擬問題、過去問題等	【知識・技能】 決算整理の意義や、決算整理が必要性について理解している。 【思考・判断・表現】 具体的な決算整理事項に対して、決算整理をおこなう必要性を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 決算整理仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	4 企業の税金、純資産の取引 【知識及び技能】 税金や純資産に関する知識をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 税金や純資産に関する取引の処理ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 検定問題等難しい問題に取り組む姿勢がある。	・自作プリント教材等 ・3級簿記検定試験 模擬問題、過去問題等	【知識・技能】 個人企業における税金に関する基本的な取引および仕訳について理解している。 【思考・判断・表現】 企業にかかる税金が、税法上、費用として認められるものであるか否かを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 税金に関する取引について自ら学び処理方法を主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5 伝票の利用と転記 【知識及び技能】 伝票の仕組みと記帳方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝票から転記など一連の流れを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 検定問題等難しい問題に取り組む姿勢がある。	・自作プリント教材等 ・3級簿記検定試験 模擬問題、過去問題等	【知識・技能】 取引にもとづいて伝票を起票しその後の一連の流れを理解している。 【思考・判断・表現】 伝票を用いて取引を記録する理由について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 伝票の意義、3伝票制による記帳について自ら学び、起票・集計・転記の流れにそって記録する方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	23
	学年末考査						1
				○	○		合計 117

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位
対象学年組：第3学年 A組～ B組

使用教科書：（人間と社会）
使用教材：（人間と社会テキスト、プリント、レポート、急手当・防犯・清掃グッズ等）
単元の目標：

- 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や、新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
- 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、多面的・多角的に考察する力や考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

単元名：（地域・社会の一員として、私たちができること）

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。	自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。	地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 「支えあう社会」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・道徳教育、キャリア教育、体験活動に関するガイダンス ・演習 「5 マナーと社会のルールについて考える」 「1 1 支え合う社会」 ・事前学習	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 「体験学習①」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・災害救助活動（AED・消火・通報・搬送訓練） ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・葛飾区地域清掃（パトラン） ・事後学習 ・レポート ・アクティブラーニング ・活動報告会 ・演習 「1 2 地域社会を築く」	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学 期	C 単元 「地域社会を築く」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・演習 「1 2 地域社会を築く」 ・事前学習 ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・文化祭での古着の回収（ふくのわプロジェクト） ・葛飾区地域清掃（パトラン）	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D 単元 「体験活動②」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・事後学習 ・レポート ・アクティブラーニング ・活動報告会 ・事前学習 ・身近な職業人へのインタビュー ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・古着の寄贈（ふくのわプロジェクト） ・葛飾区地域清掃（パトラン）	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
3 学 期	E 単元 「働くことの意義」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・ボランティア活動の意義や注意点について考える。 ・葛飾区地域清掃（パトラン） ・体験活動を振り返り、レポートにまとめる。 ・職種やインタビュー内容について考える ・身近な職業人へインタビューを行う。 「人間と社会」テキストを活用 ・10年後の私について考える。 ・グループワークでまとめを報告する発表を行う。 1年間の学習を振り返りレポートにまとめるとともに、体験活動を通して感じたこと、考えたことを発表する。	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。				11
							合計 39